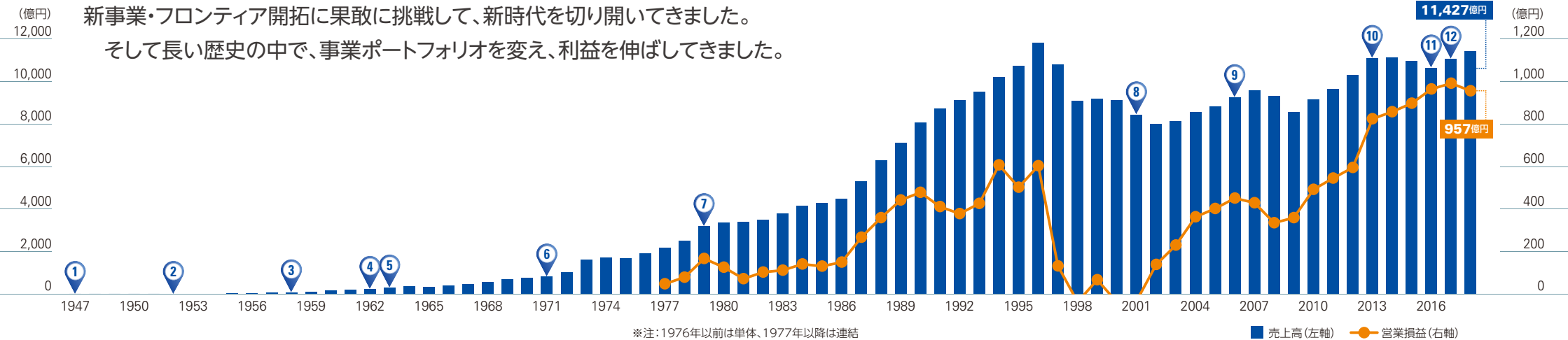


積水化学グループの軌跡

積水化学グループの軌跡

当社は、1947年に、その当時は夢の新素材であったプラスチックの総合的事業化を目指して設立されました。以来、プラスチックに関連する技術・製品を中心に、3S精神で新事業・フロンティア開拓に果敢に挑戦して、新時代を切り開いてきました。

そして長い歴史の中で、事業ポートフォリオを変え、利益を伸ばしてきました。

**1 1947年**

プラスチックの総合事業化を目的とし、積水産業株式会社として発足

**4 1962年**

プラスチック製ごみ容器「ポリパール」を全国的に展開し、ごみ問題の解決に貢献

**7 1979年**

製造から販売・サービスにわたる品質管理の最高栄誉賞「デミング賞実施賞」受賞

**10 2013年**

独自の材料技術により高安全・長寿命・高容量を実現可能なフィルム型リチウムイオン電池を開発

**2 1952年**

塩化ビニル管「エスロンパイプ」の本格製造開始

**5 1963年**

日本の製造業として米国進出第1号
SEKISUI PLASTICS CORPORATION

**8 2001年**

社内カンパニー制を導入

**11 2016年**

大久保相談役(当時)がデミング賞本賞受賞。会社として日本品質奨励賞品質革新賞を受賞

**3 1958年**

合わせガラス用中間膜「S-LECフィルム」の事業を開始

**6 1971年**

鉄骨系ユニット住宅「セキスイハイム」の販売を開始、住宅事業に本格進出

**9 2006年**

第一化学薬品株式会社(現:積水メディカル株式会社)を買収し、新会社を設立

**12 2017年**

“ごみ”をまるごと“エタノール”に変換する生産技術の開発に、世界で初めて成功

